

第2回調査分析部会 議事要旨

1. 日時：平成25年4月25日（木） 15：00－17：00

2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室

3. 出席者

（1）委員

中須賀部会長、青木部会長代理、秋山委員、五百木委員、磯部委員、城山委員、橋本委員、渡邊委員

（2）事務局

西本宇宙戦略室長、明野宇宙戦略室審議官、深井宇宙戦略室参事官、國友宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

（1）米国の宇宙政策について

JAXA、SJACから資料1、2に基づいてヒアリングを行った。

また、青木委員、渡邊委員から資料3、4に基づいて情報提供があった。

主な意見は下記の通り。

○世界の宇宙産業が成長している中、我が国の宇宙産業の成長と比較し、どのような関連性があるのかといった分析をすることで、今後、我が国として伸ばすべき分野等も見えてくるのではないかと。

○海外の様々な機関等が公表している情報を収集するだけでなく、同時にその情報の信頼性を検証しなければならない。

○必要な時に過去から今や将来に結び付く分析が行えるよう海外の政策文書等を網羅的に蓄積していくことも重要である。慶応大学では宇宙法に関する文書を集め、データベースとして公開するという取り組みを行っているところである。

○JAXAの調査分析体制が強化されたとのことで、宇宙政策の企画立案に資するように、政府と連携し、ニーズを踏まえて効率的、効果的に調査分析を行うことを期待したい。

○我が国の情報収集、調査分析機能の在り方の議論を行う上で、宇宙関係だけではなく、科学技術、海洋等といった他分野での情報収集、調査分析の取り組みを調べ、比較することも有意義ではないかと。

○ジョージワシントン大学宇宙政策研究所に関する重要な点として、教育機関としての客観性・公平性や人材育成機能が挙げられる。また、卒業生が宇宙関連の行政府や民間企業に就職し、ネットワークが形成されている。

以上